



一本松小学校4年生

平成16年10月に、南宇和郡の5か町村が合併して誕生した愛南町。皆さんに「愛南町にひとつ」と題してメッセージをいただきました。



### 宇都宮彩菜さん

(城辺甲、宇和島南中等教育学校2年生)  
2017年に開催される愛媛国体では、愛南町での女子サッカー競技の実施が予定されています。宇都宮さんは、小学校6年生のときに12歳以下の愛媛県代表メンバーに入り、また、県サッカー協会の優秀選手にも選ばれています。現在は、四国で10名だけが選ばれる「プロテクト選手」に指定され、レベルの高い環境で実力に磨きをかけています。国体で、愛媛県代表として愛南町でプレーするのも夢の一つという宇都宮さん。期待が膨らみます。

### 井村光男さん

(御荘平城、教員)

子どもが大好きで、学校の休み時間などには子どもたちといっしょに遊ぶこともあるという井村先生。愛いっぱい愛南町で、子どもたちには健やかに育てほしいと、愛情をいっぱい込めたメッセージをいただきました。



### 寺岡秀幸さん

(柏、会社員)  
寺岡さんの座右の銘にもなっている「温故知新」。田舎のいいところは、昔ながらの人と人とのつながりだと言う寺岡さん。「その密接なつながりが、地域を活性化する自治力の源だと思う。不景気や高齢化の影響もあるかもしれないが、自治力の弱まりを感じている」と話してくれました。地域を大事に育てるといふ思いでつながりを強めていけば、新しい動きが起これるし、まちが元気になる。寺岡さんの地域を思う熱い気持ちが伝わってきました。



## 福田 久さん

(福浦、福浦地区区長)

福浦地区では、福浦小学校が「防災マップ」の作成や、県警、宇和島海上保安部の合同防災訓練への参加など、防災活動に積極的に取り組んでいます。福田さんは、「防災訓練での子どもたちの真剣に取り組む姿勢がすごく印象的だった。大人も率先して取り組むべき問題で、行政の協力も得ながら、有事の際に備えて防災・減災に力を入れたい」と話しました。



(写真右から)

久徳久美さん(御荘平城、会社員)

木村みきさん(緑甲、歯科助手)

藤代万里さん(城辺甲、団体職員)

3人は、大好きなバレーボールで汗を流すのも楽しみの一つ。練習後に飲むビールがとてもおいしいそうです。3人のお話から、ビールのお供に愛南町産のおいしい食べ物があれば最高に幸せだということが伝わってきました。



山岡 愛さん(船越、介護職)

「愛南町いやしの郷トライアスロン大会」について、「開催地は西海地域だけど、たくさんの方がボランティアで参加するなど愛南町が一つになっていると感じる。さらに参加選手とも一体となれる素晴らしい大会。この大会を継続し、よりよい大会にすることで、愛南町が活性化されると思います」と、山岡さん。過去3大会すべてにボランティアスタッフとして参加し、その盛り上がりを感じています。



宮本翔吾くん

(緑甲、南宇和高校3年生)

「南宇和高校は愛南町に一つしかない高校なので、高校生一人一人が地域に貢献してほしい」。南宇和高校で生徒会長を務めた宮本くんの思いを込めたメッセージです。宮本くんは大学に進学予定で、「大学で経済学を学び、将来は愛南町に帰ってきて地域に貢献したいです」と笑顔たっぷりに話してくれました。



中村千賀子さん(柏、主婦)

「5か町村が合併して10年になりますが、良かったことばかりではないと思います。でも、過去を振り返るより、前を向いて歩んでもらいたい。「明日」という言葉に夢や希望が持てる愛南町であってほしい」。中村さんは、より良い「明日」が訪れることを願い、愛南町にエールを送りました。

吉村那智さん  
(中川、南宇和高校3年生)

一本松中学校ではバレーボール部に所属していた吉村さんは、高校に進学してからボールを筆に持ち替え、書道部の部長として活躍しました。一筆入魂で、「暁」という文字に「愛南町には、これからますます発展してほしい」との願いを込めました。



山下楓人くん(写真右)、颯太くん  
(小山、一本松小6年、一本松保育所あか組)  
食べるのが大好きな楓人くん、颯太くん兄弟。愛南町の特産品には大好物がたくさんあるので「愛南町でとれる魚介類や農産物は、どれもとてもおいしい」と目を輝かせながら、愛南町の食について話してくれました。